

グループホームかりん 第6回運営推進会議 報告書

開催日	令和6年2月16日（金）13：30～14：30			
開催場所	グループホームかりん			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	2名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	1名		
事業所出席者	施設長	1名	グループホーム職員	1名
	グループホーム管理者	1名		
欠席者	地域住民の代表1名、行政（市長寿社会課）1名			

1、利用状況報告について

1/31 現在

入居者の 状況	入居人数（16名） 男性（2名） 女性（14名）
	要介護1（5名） 要介護2（5名） 要介護3（2名）
	要介護4（2名） 要介護5（2名） 平均要介護度（2.43）
	年齢（平均87.0歳）（最若66歳）（最高98歳）

認知症生活自立度 I（1名）Ⅱa（1名）Ⅱb（7名）Ⅲa（4名）Ⅲb（2名）Ⅳ（1名）

さくらの家～ 要介護1（2名）要介護2（3名）要介護3（1名）要介護4（0名）
要介護5（2名） 平均要介護度（2.625）

もくれんの家～要介護1（3名）要介護2（2名）要介護3（1名）要介護4（2名）
要介護5（0名） 平均要介護度（2.25）

◇12月・1月の入退居報告

入居 1/18 要介護1 89歳 女性

退居 1/10 要介護5 87歳 女性（施設入所）

1/26 要介護3 92歳 女性（入院）

1/29 要介護3 90歳 男性（施設入所）

◇ショートステイ利用者

1/11 要介護1 89歳 女性 ⇒1/18 正式入居手続き完了

2、事業所活動報告について

（1）1月・2月活動状況（スライド参照）

事業所の雰囲気、レクリエーション等、利用者の様子、食事、生活の様子サービス全般について

1月 小鴨神社へ初詣 書道クラブ書初め

2月 節分

（2）職員会議、研修会等

＜定例としてあるもの＞

- ・月 1 回：運営会議
- ・毎週月曜日：稼働調整会議
- ・第 2 火曜：事故防止委員会
- ・第 2 木曜：サービス向上委員会、身体拘束廃止・虐待防止委員会
- ・最終週水曜：栄養改善研修
- ・第 4 金曜：感染対策委員会

（かりん会議）

- ・リーダー会議 各リーダーと管理者が運営会議を基に統一事項について確認をしています
- ・フロア会義 各ユニットで事例検討、見直しカンファレンス、個人の情報共有
- ・GH係会議 かりん全体での会議、研修、研修の振り返り
- ・ミニ研修 1 月 1 7 日 「成年後見制度」講師：マグノリア包括主任
- ・伝達講習 2 月 8 日 「吐物処理研修」「ノロウイルス研修」「福祉の職場で働く看護職員研修会」すべて Zoom 研修について看護師より行う
- ・事例検討会 1 月 3 0 日 GH かりんから事例発表 ケアワーカー 3 名参加
- ・鳥取県福祉研究学会 1 2 月 2 日「子ども食堂のあゆみ」をケアワーカー 1 名発表
- ・防災訓練 昨年 1 2 月 5 日夜間想定図上避難訓練
1 月 9 日・2 月 1 3 日夜間想定避難訓練
- ・栄養研修 12 月 27 日「便秘の予防について」
1 月 31 日「骨を丈夫にする食支援について」
担当マグノリア管理栄養士
- ・令和 5 年度ジョブアカデミーによるジョブメドレー必須研修
 - ・令和 5 年度ジョブアカデミーによるジョブメドレー必須研修

12 月～1 月末まで

2 月～3 月末まで

服薬管理/服薬介助

認知症ケア

介護の医療の連携

（3）子ども食堂休止

12 月・1 月はコロナ感染およびインフルエンザ感染予防のため休止しました。

3. 往診について

○アゼリア丸山先生往診…月に 2 回 1/10・1/24・2/7

○藤井政雄記念病院往診…月に 1 回 1/18・2/15

4. 事故・ひやりハット報告

（1）ヒヤリハット（12 月：1 件／1 月：4 件） （別紙 1 参照）

※ヒヤリハットは事故が起こる前に気付いたこと、起こっても利用者には変化がなかった場合

起こりうるリスク	転倒、転落の可能性	その他	異食・喉詰め 誤飲食の可能性	医療管理不十分	誤薬の可能性	離所	紛失の可能性	利用者トラブル、不信感
12 月	1	0	0	0	0	0	0	0
1 月	1	2	0	0	0	0	0	1

(2) 事故 (12月:レベル1:2件/1月:レベル1:1件 レベル2:2件) (別紙2参照)

※事故とは起きてしまい利用者の観察が必要または治療が必要になった場合

	転倒・転落 等	表皮剥 離 打撲・裂 傷	喉詰め 誤飲・誤 食	医療 健康	落下薬	離所	情報共有 ミス	業務 ミス	利用者 トラブル
12月	1	0	0	0	0	0	0	1	0
1月	1	1	0	0	0	0	0	1	0

5. 待機者の状況

登録者数 (1月31日現在)	女性 40名	男性 13名	計 53名
-------------------	-----------	-----------	-------

6. 自己評価結果報告

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツールを活用し自己評価結果を別紙にて報告致します。

7. その他

(職員の入退職・異動等)

- ・ケアワーカー1名現在育児休暇中
- ・1/20退職 夜勤専門員1名

8. 意見交換

◆家族代表

①自治公とのつながりがあることはよい事だと思います。先ほどの評価でも言われていたように、今後も地域とのつながりを作っていって欲しいと思います。

もうひとつ。評価の中で「(かりんの中で)携帯電話OKなんだ?」とびっくりしております。

どんな方が使用されていますか?

[かりん職員]⇒女性のご利用者2名が携帯電話を常時使用できる状態でおられます。また、最近、入所された方3名のうち、2名(男性1名・女性1名)が持参されました。いつでもご家族と連絡をとれて不安感の軽減になると思っています。一方で、しばらくすると携帯電話の使い方がわからなくなったり、携帯電話自体どこに置いてしまわれたのか、ご利用者自身も忘れてしまわれてしまい、結局、ご家族に返却することもあります。

◆明倫小鴨地域包括支援センター

①この地域ではスターロイヤルさんもありますが、最近の傾向は特老の入居が減っているようです。以前は「病気を発症したら施設入所」でしたが、最近は少し違ってきているようです。

[地域住民の代表(民生委員)]⇒やはり(みなさんが)在宅が望みでしょう。

[家族代表]⇒すべてが(自分たちが考えるような)思い通りにならないですね。やはり、自宅が無理なら病院に入院し、その後は施設という流れになるのでしょうか。

②施設という選択肢だけではなく、自宅（在宅）を望まれる方も多くなり、地域密着型施設等が増えるなど「地域包括ケアシステム」が整ってきているともいえると思います。

③書道クラブの無償のボランティアの方をよく見つけれられましたね。

[かりん職員] ⇒小鴨地域にある居宅のケアマネさんに紹介して頂きました。大変ありがたく思っています。まだ、4回ほどしか開催出来ていませんが、参加されるご利用者もみるみる上達され、半紙に太く力強く字を書かれるようになっていきます。生活の中の楽しみのひとつになっているようです。

◆地域住民の代表（民生委員）

①地域との関わりという大切な事だと思いますが、コロナ以来西倉吉町もなかなか行事を再開できていない。若い人たちの活気が感じられない。今年のとんどさんについても、例年なら「豚汁」を作って振る舞っていたのですが。面倒なことはしたくないのか？コロナ前のような行事をなかなか再開できないのが西倉吉町だけでなく地域の問題だと思っています。

[かりん職員] ⇒是非、コロナ前のような行事の再開をお願いします。住まいがある身近な地域に出かけることが、まずは大事な事だと思います。また、何かかりんができることがあれば、ご協力できたらいいなあと思います。

◆施設長

日頃より、かりんの運営につきましては皆様のご理解とご協力を頂き、大変感謝しております。本日が本年度最後の運営推進会議となります。まだまだコロナ前のような状況には戻っておりませんが、地域に根差した「かりんは地域密着型の施設」でありますので、来年度も地域の方とのつながりを築いていける活動を積極的に取り組みたいと思っております。また、令和5年度同様に来年度も変化をしていく年だと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

※次回開催日 令和6年4月19日（金）13：30～14：30